

国際共同研究事業
スイスとの国際共同研究プログラム
平成28年度実施計画書

平成28年12月15日

共同研究代表者

所属機関・部局 早稲田大学・理工学術院

職・氏名 教授・渡邊克巳

1. 研究課題名 (和文) 顔表情認知の文化差に関する発達認知神経科学的研究
- (英文) Tracing cultural diversity for the decoding of facial expressions
of emotion: From visual intake to neural signatures
2. 共同研究実施期間
平成29年3月1日 ~ 平成32年2月29日(3年0ヶ月)

(注) 本計画書は、受託機関を通して電子データにて提出してください。

5. 本年度実施計画の概要

※ 申請書の内容を踏まえて、日本語にて記入してください。

※ 経費との関連がわかるように具体的に記入してください。

平成28年度は、平成29年度からの本格始動に向けての準備期間を1か月間（平成29年度3月1日～3月31日）設け、主に眼球運動解析ソフトウェアである iMAP4 の稼働に向けたシステム構築を行う。契約締結と研究期間開始後直ちに、ワークステーションセットアップを開始し動作確認を行うとともに、研究の方向性に関する議論を進める。研究参加者の打ち合わせに関しては、メールやインターネット会議システムを用いるため、今年度に関しての旅費などは発生しない。

6. 本年度経費総額* 1,079 千円

* 研究経費（直接経費）と間接経費の合計を記入して下さい。

（単位：千円）

研究経費（直接経費）							間接経費
設備備品費	消耗品費	旅費等		人件費・謝金等	その他経費	外国旅費・人件費・謝金等に係る消費税*	
		国内旅費	外国旅費				
830	0	0	0	0	0	0	249

* 外国旅費・人件費・謝金等に係る消費税を本経費から支出しない場合は、その理由等を「外国旅費・人件費・謝金等に係る消費税」欄に記入してください。

* 委託費の上限は申請額に基づき、研究経費（直接経費）1,000万円以内/年（かつ3,000万円/全研究期間）に対し、30%の間接経費を加えた額とします（ただし平成28年度のみ）。

翌年度所要見込額	翌々年度所要見込額	3年度後所要見込額	左の欄は該当する場合のみ記入してください。 （単位：千円）
11,000	11,000	10,087	

* 上の欄は該当する場合のみ記入してください。（単位：千円）

* 委託費の上限は申請額に基づき、研究経費（直接経費）1,000万円以内/年（かつ3,000万円/全研究期間）に研究経費に対し10%以内の事務委託手数料を加えた額

研究計画全体必要額	2年度目以降の場合は、前年度までの執行済額も含めて記載してください。 （単位：千円）
33,166	

* 研究計画全体必要額の上限は申請書記載の額とします。

7. 設備備品費、消耗品費、人件費・謝金等、その他経費

	細目	金額 (単位：千円)	積算内訳
設備備品費	データ解析用ワーク ステーション (UNI-XW-E5HS)	830	以下の仕様を満たすもので見積り 24Core Xeon E5-2650 v4 2.2GHz (12core x 2CPU) L3=30BM : 128GB (16GBx8) ECC Registered DDR4-2400 Quad-Channel
	計	830	
消耗品費			
	計	0	
人件費・謝金等			
	計	0	
その他経費			
	計	0	

備考：

- ① 細目は設備備品費、消耗品費、人件費・謝金等、その他経費（「通信費（切手・電話等）」「運搬費」「印刷費」等（手引 8-8 参照）の別に記入してください。
- ② 設備備品費、消耗品費、人件費・謝金等、については、「積算内訳」の欄に品名または人物名、単価および数量を明記してください。

8. 交流計画

(a) 日本側参加者（代表者を含む）の国内出張計画

出張者 (氏名)	出発地 (都市名)	用務先 (都市名)	旅行期間*	用 務 (用務先・用務内容)	経費負担**

* 旅行期間の欄の記入例：「6月頃、10日間」

** 本経費使用予定の有無を記入すること

(b) 日本側参加者（代表者を含む）のスイスへの渡航計画

出張者 (氏名)	出発地	用務先 (都市名)	旅行期間*	用 務 (用務先・用務内容)	経費負担**

* 旅行期間の欄の記入例：「6月頃、10日間」

** 本経費使用予定の有無を記入すること

(c) 日本側参加者（代表者を含む）のスイス以外の国への渡航計画*

出張者 (氏名)	出発地	用務先 (国名・都 市名)	旅行期間**	用 務 (用務先・用務内容)	経費負担***

* 外国出張の渡航先は原則としてスイスのみとします。ただし、当該共同研究の研究成果発表を目的とする学会等への出席や、フィールドワーク等で当該第三国へ行くことが必須である研究上の理由がある場合に限り、スイス以外の国を訪問することが可能です。

** 旅行期間の欄の記入例：「6月頃、10日間」

*** 本経費使用予定の有無を記入すること

(d) スイス側研究者の来日計画

出張者 (氏名)	用務先	旅行期間*	用 務 (用務先・用務内容)

* 旅行期間の欄の記入例：「6月頃、10日間」